

新業方

品種改良の話

(六一) 農試本場天辰生 F₂ の選抜は最も重要な操作であり、鍛錬された眼識を要することは云ふまでもない。兩性雜種で兩親の優性形質を結合した固定種を得ようとは全体の十六分の一しかないのであるけれども、雜種性のものも交へて同様の外觀を呈するものが十六分の九あると探種して次代の鑑定にかけなければならない。而かもこれは分離が論理通り行つたと假定してのことであるから、實際にはもつと多くの個体を栽培して選抜しなければならない。これ以後の陶汰は前回述べた純系陶汰法と異なるところがない。要するに目的に適つた純系固定種を選抜するのである。本縣の水稻與麥品種で陸羽一二三號は英國と鶴の尾の交配によつて出來たものであることはよく知られてゐる。英國は晚生種で有芒穎に紫の色を有し、耐肥性強く、多收の品種であるが他の尾は無芒で中性穎、穎に着色なく、耐肥性は弱い方で收量は中位であるが品質はよろしい。之れ等の兩親から出來た陸羽一二三號は諸形質について兩方のどかの併を有する様に思ふ、成熟期、分蘖力、生產力、品質は鶴の尾の方に偏り、草丈は愛國と同じ位であり今その陸羽一二三號の形質狀態を上げれば

耐肥、耐病性と穎色は交配兩種の中交を示し成熟期及び分蘖力並に粒形と品質は

七分五厘乃至八分の程度を鶴の尾によりて芒型に於ては九分五厘まで鶴の尾に近づてゐるが草丈のみは九分の程度まで愛國に似通ひ芒型は無芒であるから鶴の尾と同型である。耐肥性、耐病性、粒型、先色等の兩者の中間位は出来たものを見較べての結果であつて最初から計算してこんな多數の形質について淘汰されたのではないであらう。

冬の中折帽子とネクタイ

若人向、紳士向

特選秀ソフ

特選秀ソフ

セラフイツク

セ